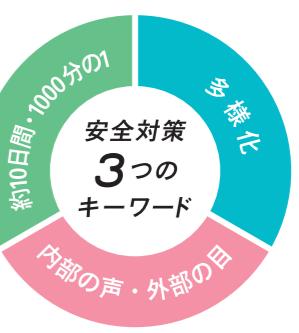


広告

柏崎刈羽原子力発電所の今

*Emily
Timely
Report*

エミリー タイムリーリポート



Vol.4 エネルギーのバランスとは

私、中田エミリーが柏崎刈羽原子力発電所の現場に訪れ、その安全対策について、3つのキーワードで稲垣武之所長にお話を伺いました。第4回は、「エネルギーのバランスとは」をテーマに対談します。

安定供給と脱炭素を見据えて、バランスのよいエネルギー構成にすることがポイントですね



中田エミリー
フリーアナウンサー（新潟県出身）

エミリー 今年の夏も暑いですね。冷房がたくさん使われていると思いますが、電気は足りていいのでしょうか？

稲垣 まだ暑い日が続きますが、電力供給の余力を表す「予備率」は、この夏も安定供給に最低限必要な3%以上を全国で確保できますが、電力需要の急激な高まりや、火力発電所の老朽化などによる影響による電力需要の急激な高まり、火電設備の故障のリスクを踏まると、特に東日本の電力供給は予断を許さない状況です。

エミリー 西日本は、予備率が十分にあるのでしょうか？

稲垣 はい。西日本ではこの夏を通して10%超を確保しており、安定して電力を供給できる原子力発電所の運営状況などに左右されず安定して再稼働が進んでいることです。

エミリー 電気料金でも東西の差があるですか？家で電気を使う私にとって電気代が気になります。

稲垣 化石燃料を使う火力発電は、国際情勢や円安などによって価格が高騰するリスクがありますが、

エミリー なぜ東日本の原子力発電所は再稼働していないのですか？

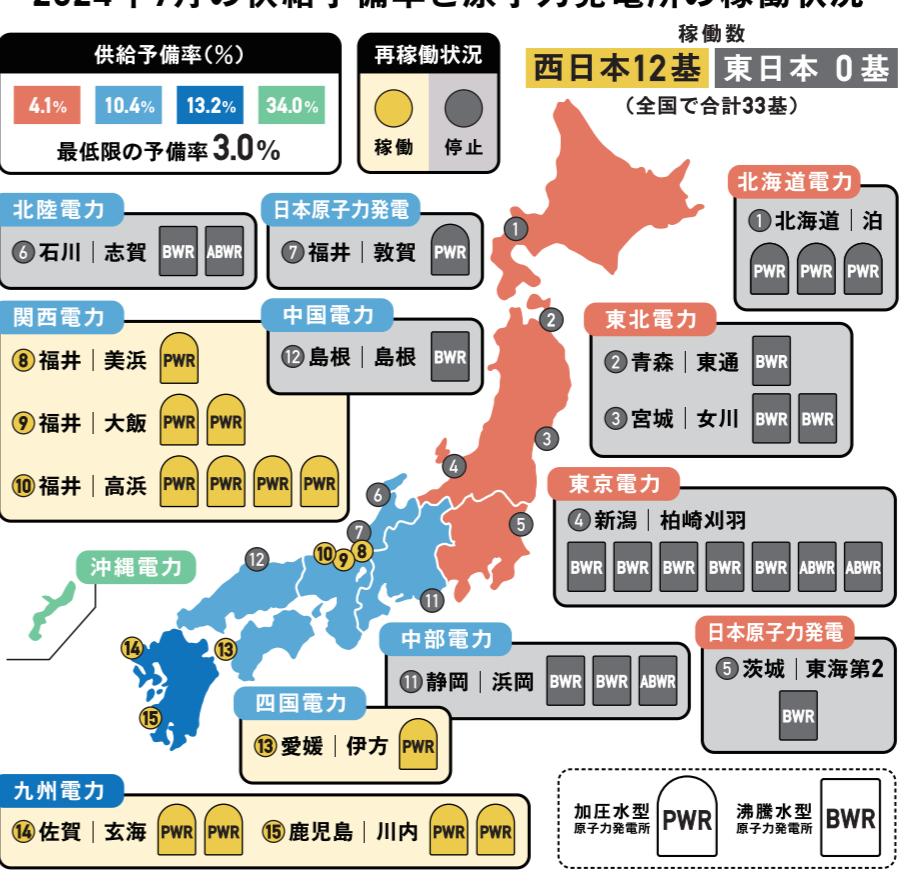
稲垣 当社が引き起こした福島第一原発事故を起きた東日本にあります。一方、柏崎刈羽第一と同じ沸騰水型（BWR）です。

エミリー 原子力規制委員会による安全対策が多く、再稼働している加圧水型（PWR）よりも追加で実施する必要があります。

エミリー 今後の見通しは、データセンター・半導体工場の新設等によるテレワーク率の減少と節電・省エネによる電力需要の見通しです。

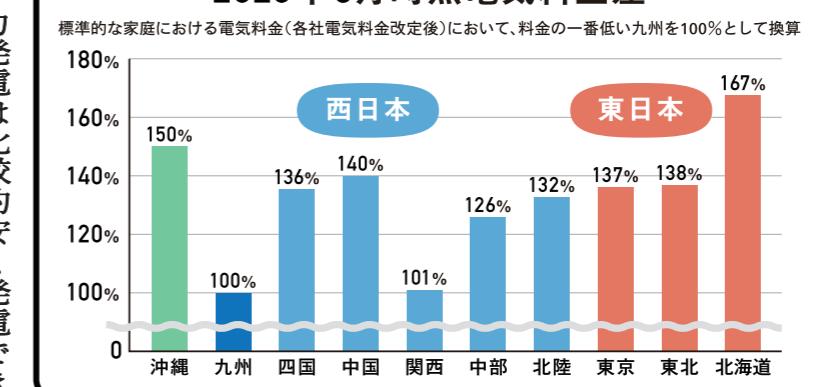
稲垣 現在、日本の電力は火力発電

2024年7月の供給予備率と原子力発電所の稼働状況



※資源エネルギー庁「2024年度夏季の電力需給対策について」より作成

2023年6月時点電気料金差

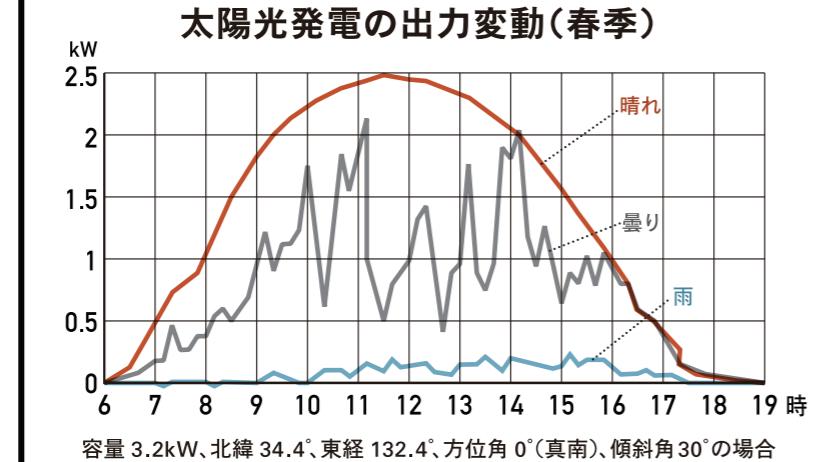


※資源エネルギー庁「スペシャルコンテンツ『2023年6月の電気料金、なぜ値上がりするの?いくらになるの?』」より作成

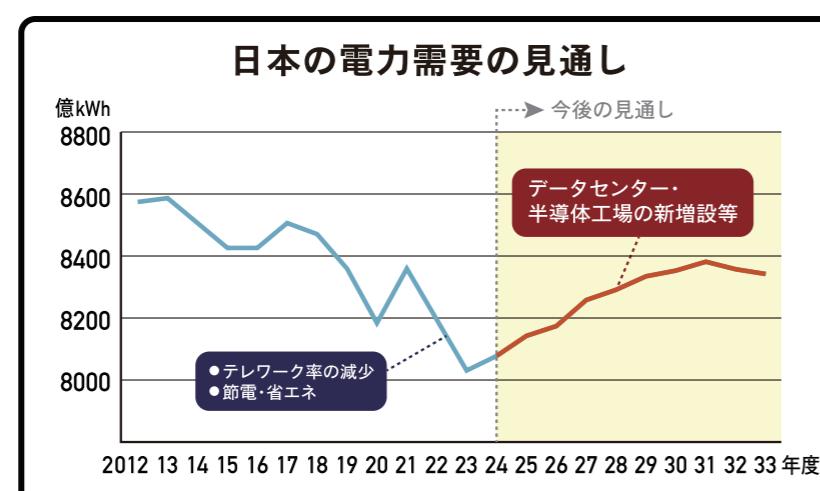
日本のエネルギーを支える力ギだと考えています。安全を大前提とした原子力発電所の再稼働が、



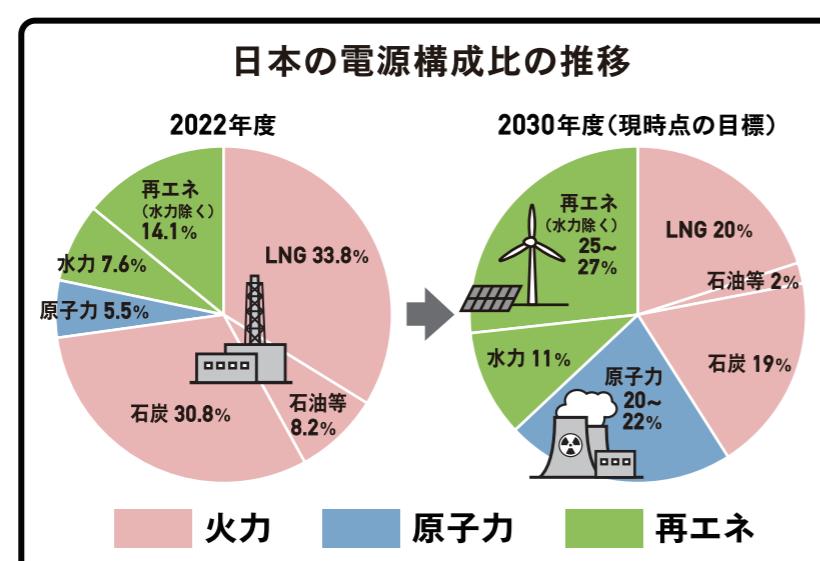
稲垣武之
東京電力ホールディングス
常務執行役 柏崎刈羽原子力発電所長



※「電気事業連合会」資料より作成



※資源エネルギー庁「エネルギー白書2024について(令和5年度エネルギーに関する年次報告)」より作成



※資源エネルギー庁「2024年7月『安定供給の現状と課題と火力の脱炭素化の在り方について』」より作成

柏崎刈羽原子力発電所では引き続き安全性向上に努めてまいります。

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社 新潟県新潟市中央区新光町11番地7 025-283-7461 9:00-17:00(土日・祝日・年末年始除く)

これまで行ってきた取り組みについては
YouTubeでもご説明しております。

